

眼形成外科外来のご案内

眼瞼（まぶた）、眼窩（眼球が入る器）、涙道（涙の鼻への通り道）など外眼部（目の周囲）の疾患を主に扱う診療科です。眼科と形成外科との境界領域ですが、その他、耳鼻咽喉科、内科（神経・内分泌）など多くの診療科と関連する病気も含まれ、専門的知識と技術を必要とする分野です。

医学全般に共通することですが、治療方針では機能の改善が整容面より優先されます。しかし、眼形成外科疾患の多くは外観と関連しておりますので、患者さまの生活の質の向上には、視機能の質の向上のみならず、整容面への配慮も欠くことができません。

当院の眼形成外科外来は、長年、美容医療にも携わってきた形成外科医が、視機能に配慮しながら診察および手術をすることで視機能と整容の両立を目指して診療しています。

主な対象疾患



- ・眼瞼疾患

**眼瞼下垂・眼瞼皮膚弛緩・眼瞼内反・外反・睫毛内反
顔面神経麻痺、兔眼**

（まぶたが開かない、まぶたの皮膚が垂れさがる、逆さまつげ、まぶたが閉じないなど）

- ・眼瞼とその周囲の腫瘍（ほくろ、いぼ、皮膚がんなど）

- ・涙道閉塞

涙目、涙がこぼれるなど

- ・その他

義眼、外傷など

当院では、手術の不安除去の目的で

低濃度笑気ガス麻酔を

導入しております。